



# 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願書

日頃、私学助成の拡充と私学振興に対して、格別のご配慮をいただき、大変ありがとうございます。深く感謝の意を表します。また、この度は、県に対して、以下の趣旨にもとづき、私学助成の拡充に関する意見書を採択していただきたく存じますので、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

一 承知のように、愛知県では、平成十一年度、経常費助成が総額十五%カットされ、授業料助成も対象家庭が縮小されました。その後、県の私学関係予算は、国の私学助成増額を土台に、経常費単独では徐々に増額に転じ、昨年度、十六年ぶりに平成十年度水準を超え、今年度は国からの財源措置（国庫準拠）を六年ぶりに回復しました。しかし、少子化による生徒減とも重なって、多くの学級の経営は深刻な事態が続いています。

また、父母負担の公私格差は未だ大きく、無償の公立に対し、私学の初年度納付金は約六十四万円をこえ、私学を自発的に選択できる層は、ごく一部に限られています。

とりわけ、平成二十二年度の「無償無償化」の際に、公立高校は無償化される一方、私立高校生には授業料助成金が支給されましたが、愛知県では財政難もあって、県独自の授業料助成が大幅に減額されました。特に乙ランク（年収三五〇万円以上八四〇万円以下）の層では、公立が十二万八千八百円軽減される一方で、私学助成は二万四千円の加算にとどまり、父母負担の公私格差は大きく広がりました。その結果、「教育の機会均等」が著しく損なわれ、私学を選びたくても選ぶことのできない生徒がますます増えました。そのため私立高校は生徒の募集難に苦しみ、私学教育本来の良さを損ないかねない状況に陥れてきました。

このような状況下で、この二年間、愛知県においては、国の無償化政策見直しに伴う就学支援金の毎区分十億円（約五億円×二年）を活用して、従来の授業料助成制度を廃止し、授業料本体については、乙Ⅰランク（年収六一〇万円以下）までの層はその三分の二を、乙Ⅱランク（年収八四〇万円以下）までの層は半分が助成されることとなりました。この措置は、中所得層層での公私格差を是正し、私学選択の自由を広げる上で、極めて大きな意義があります。また、入学金助成は、年収三五〇万円以下の甲ランクでは二年連続五万円増額されました。

それにもかかわらず、「父母負担の公私格差の是正」は、未だ根本的な解決には至っておらず、私学を自由に選択できないなど、「公私間輪転制」によっていびつな状況が今なお続いています。甲ランクでは、授業料本体と入学金については、無償化されましたが、施設整備費などを含めた「巨額金」では、未だ約五万円の公私格差が残っています。しかも、年収三五〇万円以下の低所得層は、公立の倍以上の比率で、学費の高い私学に来ているという現状があります。一方、入学金助成は、甲ランクは二十万円となり、無償化されましたが、乙Ⅰは六万五千円、乙Ⅱは四万八千円で抑えられたままで、十五万円前後の負担が残っています。

現在、愛知県においては高校生の一入に一人が私学に学んでおり、私学は「公教育」の重要な役割を担っており、生徒急増期においては、生徒収容で多大な役割を担うなど、「公私間輪転制」で県下の「公教育」を支えてきました。このような事情から、父母負担と教育条件の公私格差を是正することは、長年にわたる県政の最重要施策でもありました。

本来、学校は、公立、私立を問わず、誰もが教育の中身によって自由に選択することが望ましく、父母負担と教育条件の公私格差を是正することは、単に私学の問題だけでなく、父母、市民にとって切実な要求です。とりわけ、無償化された高校教育においては急務です。

以上の見地から、県は、私学助成の拡充にさらなる努力を行うべきと考えます。子どもと教育のために一を最優先させて、予算編成にあたっては、父母負担の軽減と、人間教育の豊かな創出を願う県民の要求にこたえるべく、県の私学助成予算を拡充することが求められているのではないのでしょうか。

貴議におかれましては、以上の趣旨を深くご理解いただき、左記の項目につきまして、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

## 請願事項

- 一 県に対し、地方自治法第九十九条により、次の意見を内容とする「意見書」を提出していただきたい。
- 一 父母負担軽減に大きな役割を果たしている授業料助成を拡充するとともに、経常費助成についても国から財政措置がなされる国庫準拠金を土台に、学費と教育条件の公私格差を着実に是正できる施策を実施すること。

平成二十七年 八月三十一日

請願者代表  
住所

氏名

紹介議員

取り扱い団体

私学をよくする愛知父母懇談会

会長

愛知私学助成をすすめる会

会長

水野正光 岡村千里 三澤正幸



大山 謙  
議長 堀江 正栄